

# 平成30年度全国高等学校総合体育大会

秩父宮記念杯 第69回全国高等学校対抗自転車競技選手権大会

第63回全国高等学校自転車道路競走中央大会

## 監督会議資料

2018 彩る感動 東海総体



誰よりも高く  
翔べ  
東海の空へ

日程：平成30年8月3日（水）～8月7日（火）

会場：

トラック：日本サイクルスポーツセンター333メートルトラック、

日本競輪学校

ロード：日本サイクルスポーツセンター5キロサーキット

伊豆市実行委員会

氏名	
----	--

# 平成30年度全国高等学校総合体育大会 大会特別規則(競技運営確認事項)

競技運営委員長 中梶 秀則  
総務委員長 河田 拓也  
審判長 高畑 秀規

## トラック・レース, ロード・レース共通事項

2018年(公財)日本自転車競技連盟規則, および大会特別規則で実施する。なお, 高体連専門部ホームページ (<http://www.hs-cycling.com/>) からダウンロードできる最新の競技規則解説を監督および競技者は熟読しておくこと。また, 各事項に示された場所については「参加案内」を参照すること。

**大会参加者は常に健康に留意し、熱中症対策に心がけてください。**

### 1. パネルメンバー

トラック・レース 高畑秀規 寺崎豪紀 馬場秀朋 岡本 健 坂井田米治  
ロード・レース 高畑秀規 寺崎豪紀 馬場秀朋 岡本 健 阿部貴宏

### 2. ライセンスコントロール(選手・監督受付)

- (1) 日 時 8月3日(金) 13:00~13:50
- (2) 場 所 日本競輪学校 講堂
- (3) 要 領 各学校の監督は上記の場所・時間内に選手の競技者ライセンスを持参し提示すること。  
必要があれば各種申請用紙を提出する。ライセンスの返却は, 開会式終了後受付場所において行う。大会期間中, 会場ではIDカードを携行すること。

### 3. コミュニケ

- (1) スタートリスト, リザルト等のコミュニケは競技結果速報板に掲示するので, 配布はしない。
- (2) コミュニケは, 全国高体連自転車競技専門部HP及びLINEにより随時発行する。



### 4. ヘルメット

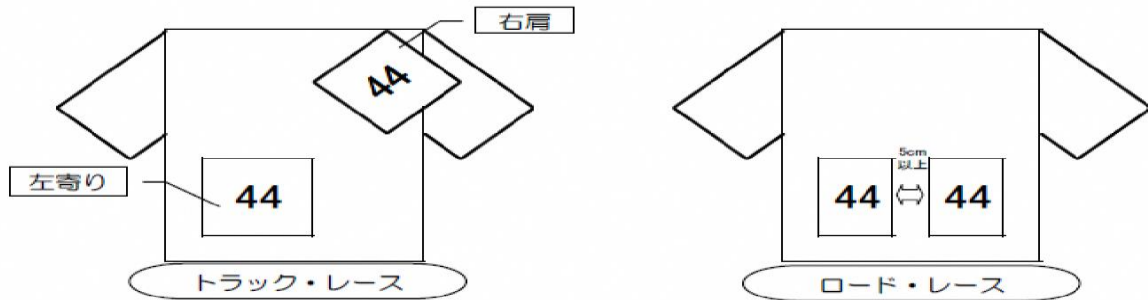
- (1) 選手はJCF公認およびJKA認定(競輪用)ヘルメットを練習時でも使用すること。公認シールが貼付されていないヘルメット, 劣化・破損が確認されるヘルメット等の使用は認めない。
- (2) JCF公認条件に「タイムトライアル系の競技においてのみ使用できる物」と注釈がついている製品は, 下記の種目の競技時のみ使用を認める。
  - ・スプリント予選(200mタイムトライアル)      ・男女タイムトライアル(以下TT)
  - ・男女インディヴィデュアル・パーシュート(以下IP)
  - ・チーム・スプリント(以下TS)      ・4kmチーム・パーシュート(以下4kmTP)

## 5. ユニフォーム (ジャージ・パンツ)

高体連専門部に登録されているジャージのみ許可する。

## 6. ゼッケン

- (1) ボディ・ナンバー (男子：白地に黒数字，女子：ピンク地に黒数字) は下図を参考とし，2枚の場合は5cm以上間隔を空けて取付ける。1枚の場合(TT, IP, TS, 4kmTP)は腰部中央に取付ける。スプリントについては予選タイムトライアルから2枚装着すること。
- (2) ロード・レースは①ボディ・ナンバー (男子：白地に黒数字，女子：ピンク地に黒数字) ②フレーム・プレート (ヘッドチューブ左側またはサドル下) ③ヘルメット・ナンバーシール (左右) を使用する。



# トラック・レース

## 1. 禁止事項

- (1) 走路保護のため，アップオイル等を体に塗ることを禁止する。
- (2) レーサーシューズでの走路の歩行を禁止する。
- (3) 犬走り(走路外側通路)は進入禁止とする。
- (4) 選手村以外でのピット設営は禁止する。
- (5) 日本競輪学校敷地内では，自転車に乗って移動することを固く禁止する。自転車は肩に担ぐか，押して歩いて移動すること。
- (6) 会場内でコンロ等の火気使用は禁止する。
- (7) 各校持込が予想される発電機・コンプレッサーの設置場所を主催者側で準備する。具体的な場所は監督会議で指示する。

## 2. 走路入退場方法

入退場口はホーム側とする。

## 3. 招集・自転車検査

- (1) 招集・自転車検査場はスタンド1階に設置し，出走及び装備の確認、並びに自転車検査を実施する。
- (2) 招集時間は各自の出走予定時刻の15分前までとする。
- (3) 自転車検査を受けた自転車は選手村及びアップエリアへ戻すことはできない。選手村およびアップエリアに戻した自転車は入場の際に再度自転車検査を受ける必要がある。
- (4) TS, 4kmTPに出場するチームは，出走1時間前までに招集所において出走するメンバーを届けること。

## 4. ヘルメット・カバー使用種目

4km速度競走，ポイント・レース，スクラッチ，ケイリンについては，ヘルメット・カバーを使用するので，装着できるヘルメットを準備すること。

## 5. スタート方法

### (1) 発走機（スターティング・マシン）使用種目

男女TT, 男女IP, TSと4kmTPの第1走者については発走機を使用する。発走機への自転車のセッティングは、原則、各チーム員が行うこと。

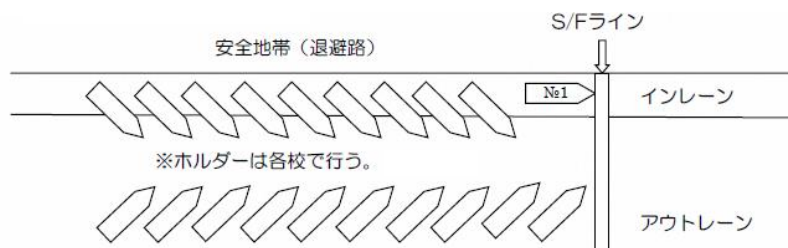
スタートは、ホーム、バック両者の準備が完了してから30秒のカウントダウンとする。

### (2) ホルダー

スプリントおよび男女ケイリン, スクラッチ, 男女ポイント・レースのホルダーは各チームで行い, その他の種目は競技役員が行う。ホルダーを準備できない場合は発走員に申し出ること。

### (3) 男女ポイント・レースおよびスクラッチ

スタート位置は下図を参考にすること。選手は安全地帯（退避路）で乗車し, 各チームのホルダーに支えられた状態で発走員の指示により番号順でスタート位置に着く。スタートリストの前半選手がインレーン, 後半の選手がアウトレーンとし, ヘルメット・カバーがNo.1の選手は, インレーンの先頭からスタートする。1周の競技外周回の後, フライング・スタートを行なう。



### (4) 4kmTP

予選において, 最終4チームは単独発走とする。

## 6. ケイリン

### (1) ケイリンの周回数は5周回, ペーサは残り2. 5周回のパーシュートラインで離脱する。

離脱時のスピードは男子が50km/h, 女子は45km/hとする。

### (2) ペーサ離脱後は最終スプリント状態とみなすので, すべての選手は各自の走行レーンを保持しなければならない。

## 7. 2kmIP, 3kmIP, 4kmTP

### (1) 予選はタイム・レースとして実施する。選手（チーム）が追い抜かれそうな場合は先頭交代を禁止し, 追い抜きが完了するまで体制を保ち走行する。追走した場合は失格とする。

### (2) 予選ラウンドにおいては, 追い抜かれた選手（チーム）も完走する。

## 8. 勝ち上がり方法

### (1) スプリント

予選はタイム上位12名を勝ち上がりとして選出する。競技順は,

1/8決勝, 1/8決勝, 敗者復活戦, 1/4決勝（ここまで1回戦制）,

1/2決勝（2回戦制）, 順位決定戦（5~8位決定戦は1回戦制, 他は2回戦制）とする。

### (2) 4km速度競走

各組予選（組数5）より上位4名を選出し, 準決勝（2組）を行う。

準決勝は各組より上位5名を選出し, 決勝戦（10名）を行う。

### (3) ポイント・レース

男子：各組予選（組数3）より上位7名を選出し, 決勝（21名）を行う。

### (4) ケイリン

組数・人数, 勝ち上がり方法は以下の通りとする。

## 男子

1回戦（48名）：8組（6名）上位2名 ⇒ 1/4決勝へ

1回戦敗者復活戦（32名）：6組（5～6名）上位2名 ⇒ 1/4決勝へ

1/4決勝（28名）：4組（7名）上位3名 ⇒ 1/2決勝（12名）へ

1/2決勝（12名）：2組（6名）上位3名

⇒ 1-6位決定戦（6名），下位3名 ⇒ 7-12位決定戦（6名）

## 女子

1回戦（12名）：2組（6名）上位3名

⇒ 1-6位決定戦（6名），下位3名 ⇒ 7-12位決定戦（6名）

### (5) スクラッチ

各組予選（組数3）より上位6名を選出し，決勝（18名）を行う。

### (6) 1kmタイムトライアル

本大会では直接，決勝を行う。

## 9. ギア比について

(1) U17のカテゴリーに該当する選手のギア比制限は，ジュニアのカテゴリーを適用する。

(2) ギア比チェックは，上位入賞者およびランダムに選出された対象者に対し実施する。競技終了後のギア比チェックはバンク中央の通路で行う。対象者は速やかにチェックを受けること。

## 10. バンク内での指示

スプリント・ケイリン・スクラッチ・4km速度競走・ポイント・レースに限り，監督チームサポート指示エリアを競走路バック側2コーナーから中央線付近に設ける。（各校1名・ピブス着用）

ただし，パーシュート種目，タイムトライアル種目についてはスタート付近での指示を1名認める。

### 11. 代車・代輪待機場所

バンク中央の直線通路で待機するものとする。審判業務に支障をきたさないよう指示に従うこと。

### 12. 種目別表彰

トラック・レースの表彰は，日本競輪学校講堂において実施する。対象競技者は指定された時間の15分前までに登録された競技用ジャージ着用で，式典にふさわしい容姿で参加すること。

（無帽で臨むこと。ヘッドバンド，サングラスの着用及びサンダル履きは禁止する。）

なお，チーム種目の1位～3位は出走者全員，4位～8位は代表者1名が参加すること。

### 13. その他

(1) ホーム，バックからの同時スタート種目では，欠場があっても繰上げて組合せることはしない。しかし，欠場が多数ある場合はこの限りではない。

(2) 横断幕の設置について

参加校が持参する横断幕（1枚のみ）については，8月3日（金）の練習時間終了後，13時15分から14時までに各校で設置してください。場所はバンクの犬走りに沿ったフェンスのみ，既設のオフィシャルスポンサー等の横断幕を避け，先着順で設置してください。多くの学校が設置できるようご協力ください。会場が小さいため，のぼり旗はバンク外周には付けなくてください。撤去についてはトラック競技各日の昼休みまたは競技終了後に撤去してください。1. 禁止事項（3）に準じ，競技中は犬走りへの進入を固く禁止します。

# ロード・レース

## 1. コース上の注意箇所

コースは順方向(左回り)である。施設の特性上、本大会は下りゴールである。ゴールスプリントを含み急激な進路変更を固く禁止する。走行ラインを保持しない場合は、軽微な動きであっても制裁の対象とすることがある。

## 2. 試走の義務

5Km サーキットにおけるレースに参加したことの無い選手には試走を義務づける。

試走は8月6日(月)13時~16時30分とする。8月6日(月)の13時以前及び16時30分以降は、設営・コースチェック・役員打ち合わせを行うため、立ち入りを禁止する。

## 3. 予備選手への変更

(1) 日時 8月6日(月) 15:00~16:00

(2) 場所 日本サイクルスポーツセンター5キロサーキット 大会本部(監視塔)

(3) 予備選手への変更は、所定の用紙で総務委員長へ申請すること。

(補欠選手への変更は認められない。)

## 4. 招集・検車

(1) 日時 8月7日(火) 女子【6:30~7:15】 男子【8:15~9:15】

(2) 場所 日本サイクルスポーツセンター5キロサーキット地下道

(3) 要領 招集所で装備の確認と自転車の検査を受け、スタート・シートに氏名を署名する。

ギア比チェックは上位完走者にフィニッシュ後実施する。(9. ギア比について参照)

自転車検査を受けた後のポジション変更や調整はしないこと。

## 5. スタート時刻

女子7:30 男子9:30 (選手は15分前に本部エリア前に整列)

## 6. スタート位置

前年度の高校総体、選抜大会入賞者および国民体育大会入賞選手はシード選手(男子11名・女子8名)として最前列に位置する。その後方には開催地競技者(男子5名・女子2名)とする。その他の競技者は開催地競技者以降、抽選順とする。

シード選手、開催地競技者は8列縦隊、その他の競技者は10列縦隊で整列する。

## 7. 距離およびスタート方式について

女子 5.0km×8周=40.0km 男子 5.0km×14周=70.0km

安全上の理由により1号橋手前(スタート地点から0.3km付近)までパレードスタートとする。

パレード中はコミッセールの指示に従い隊列を崩さず走行すること。(追越し禁止)

## 8. 補給所

以下の要領で各チームからの選手への補給を認める。

(1) 補給区域・・・補給区域はコース脇右側のみに設置する。

補給区域の始点および終点は看板により明示する。

(2) 補給員数・・・人数は参加選手+1名を上限とする。補給員はIDカードを必ず着用のこと。

(IDカードはロード・レース参加選手人数分 + 参加校へ各1枚を配布する。)

(3) 補給周回・・・男女とも周回コースの7周回目から最終周回までとする。放送でも連絡する。

気象条件により変更する場合はコミュニケで掲示する。

(4) 投棄エリア・・・補給区域の前後右側に設定している。

## 9. 関門所での打ち切り

(1) 関門所・・・長者が原に関門所を設置する。

- (2) 打切り・・・周回遅れが予想される競技者を除外する。(原則として8位を含む集団から5分) 失格となった競技者は、ボディ・ナンバー1枚、計測チップを外し、関門審判員に渡す。

## 10. 機材について

今大会においては、ディスクブレーキを搭載した自転車の使用は禁止する。

### 11. 機材サポートとインフォメーション

- (1) ニュートラルカー(2台)・ニュートラルMOTO(1台)・インフォMOTO(1台)・地上インフォ(池の上休憩所・秀峰亭)を主催者で準備する。
- (2) リアホイールはシマノ10段と11段を用意している。
- (3) 計測チップ配布時に10段、11段の申告をすること。
- (4) チームスタッフからの機材補給は認めない。
- (5) 提供を受けた機材は、フィニッシュ後直ちに選手招集・検査所へ返却し、各自の車輪と交換すること。

### 12. ギア比について

- (1) U17のカテゴリーに該当する選手のギア比制限は、ジュニアのカテゴリーを適用する。
- (2) フィニッシュした選手は、フィニッシュ後のギア比チェック所(監視塔横)において競技役員の誘導に従い、ギア比チェックを受けること(上位20名程度)。チェックを受けない場合は失格となる。

### 13. 計測チップの配付および返却

- (1) 配付日時 8月6日(月) 15:00~16:00
- (2) 配付場所 日本サイクルスポーツセンター5キロサーキット 大会本部(監視塔)
- (3) 返却日時 8月7日(火) レース終了後
- (4) 返却場所 日本サイクルスポーツセンター5キロサーキット 大会本部(監視塔)
- (5) その他 計測チップを紛失・破損した場合は実費15,000円を請求する。  
返却忘れも同様である。

### 14. 表彰式・閉会式

- (1) 開始予定時刻 8月7日(火) 13:00~
- (2) 会場 伊豆ペロドローム
- (3) 入賞選手、入賞校は表彰式の15分前には会場に集合すること。
- (4) 入賞者は、登録された競技用ジャージを着用し、式典にふさわしい容姿で参加すること。  
ただし、座席で待機している間はトレーニングウェア等の着用を認める。  
(無帽で臨むこと。ヘッドバンド、サングラスの着用及びサンダル履きは禁止とする。)
- (5) ロード総合優勝校は2名、2位以下は代表1名が出席すること。
- (6) 学校対抗総合優勝校は出場選手全員、2位以下は代表1名が出席すること。
- (7) 関係者の参加 表彰式へは保護者・応援者も参加することができる。